



幼小連携・小中一貫教育の推進



行方市では、「子供育成のための手段」として幼小連携・小中一貫教育を推進しています。幼児教育と義務教育の11年間を連続した教育課程として捉え、取組内容を、子供や学校、地域の実情等を踏まえたより質の高いものにしていくことがねらいです。各中学校区で、課題に応じた方策（学習指導・生徒指導・特別支援教育等）を実施し、改善・向上を図ります。協議会には、各園長・校長、代表教頭・教務主任・PTA会長、学識経験者等が参加します。北浦中学校区では、17日に幼小中の代表者による協議会を開催し、「目指す子供像」の確認と、発達段階における取組内容についての話し合いを行いました。

効果	学力向上	いじめ及び長欠・不登校の未然防止、早期発見・対応	将来の社会的自立
----	------	--------------------------	----------



取組	確かな学力を育む教育の推進	豊かな心を育む教育の推進	特別支援教育の推進
目指す子供像	中学校卒業までに 自ら課題を発見し、根気強く追究することができる。	中学校卒業までに 正しく判断し、自信をもってよりよく行動できる。	中学校卒業までに 集団に参加し、共に学ぶことができる。
	小学校卒業までに 相手を意識しながら自分の思いや考えを進んで表現できる。	小学校卒業までに 自分で考えて、自信をもって行動できる。	小学校卒業までに 身近な人や環境に進んで関わろうとする。
	卒園までに 相手の話を最後まで聞いたり、自分の言葉で思いや考えを表現したりできる。	卒園までに 生活や遊びの中で自信をもって、意欲的に活動に取り組むことができる。	卒園までに 身近な人や環境に関心をもち、関わって遊ぶことができる。



行方市コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

行方市コミュニティ・スクールは、令和4年度に小学校に、令和5年度に中学校に導入されます。目的は、保護者や地域住民が連携・協働し、学校運営に参画・協力することで、学校と保護者及び地域住民との信頼関係を深めるとともに、教育活動の充実や学校運営の改善、子供たちの豊かな学びと育ちの環境づくりを目指し、「地域と共にある学校づくり」の実現に取り組むことです。

本校では、5月24日に第1回学校運営協議会を開催しました。

(委員)

元教育委員、地区住民代表、民生委員、元PTA会長、青少年相談員、保護者代表、区長代表、PTA会長、学校代表等

(協議)

・学校教育基本方針についての承認
・運営協議会の活動計画
・学校・地域の課題について意見交換

今後、授業参観や課題解決に向けた協議をしていくこととなりました。

学校運営協議会は、年間4回(5月・7月・10月・2月)の実施と1回(6月または9月)の研修会を予定しております。実施した内容につきましては、随時学校だよりや学校HPでお知らせします。



みんなの笑顔が輝いた！

5月19日、晴天のもと、校内陸上記録会を行いました。4年生が中心となり、体育館からリモートでエールを送ってくれました。それに合わせて3年生以下も教室から拍手を送ります。下級生の熱い応援を受け、5・6年生は、精一杯自分の力を発揮しました。競技後には、満面の笑顔が見られました。翌日のお弁当にはご褒美に好物を入れてもらった子もいたようです。ご家庭のご理解・ご協力に感謝します。

「子供が考え 子供が動く」機会と時間を確保する